



おかげさまで…キリンとライオン来園

動物園を運営していると、毎日毎日一番気になるのはお天気の事です。朝から雨が降ってようものなら、そしてそれが土曜日や日曜日なら、気分はぐっと落ち込みます。動物園を訪れる人がめっきり減るからです。反対に朝からカラッと晴れているとルンルン気分職場へ向かいます。それほど動物園はお天気に左右されます。最近は水族館のように屋内型の展示場も増えてきていますが、やはり動物園はアウトドアの施設です。運営の責任者にとって、来園者数は絶対的な数字です。動物園は、単にレクリエーション施設ということだけでなく、教育や研究の場としての役割も担っています。ですから、来園者数に一喜一憂することなくその役割を全うしていけばいいのではとも思いますが、やはり多くの人にきてもらい楽しんで帰ってもらいたいし、何よりコストパフォーマンスの面からも来園者の数が、園が存続していくうえでひとつの大きな指標であることは間違いありません。そのためにどこの動物園も一生懸命来園者増加のための魅力づくりに取り組んでいます。

そんな中、平成20年度の入園者数はおかげさまで、前年度の数を上回ることができました。その大きな理由はやはり平成20年6月のチンパンジーの森のオープンだと思います。それと、平成21年に入ってレッサーパンダやビーバーの新規入園とシマウマやクロサイの赤ちゃん誕生などが人気を集めたものと思われます。4月に入ってからこの好況は続き、土曜日、日曜日は高速道路の割引もあり、駐車場は満車の状態が続いて大変ご迷惑をおかけしています。

こうした中、さらに動物園に新しい仲間が増えました。アミメキリンのオスの来園です。平成18年にオスのナミトが亡くなって以来メスのキリコ1頭だけが飼育展示されてきました。広いグラウンドに首長ノッポが1頭だけというのは、どうみても寂しいものです。オスのキリンは国内的にも不足気味で中々その導入がうまくいきませんでした。今回、動物園と協働関係にある公園協会から寄贈いただくことになりました。早速平成21年4月26日にキリンの入園式を行いました。待ちに待ったお婿さんということで園内のお客さんからもとても歓迎してもらいました。彼の名前はシゲルくん。2頭並んだ姿はなんとなくカップル誕生という感じがしないでも…。それはともかく、やはり群れで生活する彼ら、2頭並んで悠々と歩く姿は絵になっています。そしてこのような晴れやかな入園式ができたのも公園協会をはじめ、オスのキリンを出せることとなった国内の動物園やたくさんの人の協力があつたからにほかなりません。まさに、おかげさまで。もちろん、キリンに限らずこれまで動物園に寄付をされた方々や動物導入に関わった関係者、そして多くの市民や遠方から来てくださったお客様のおかげで入園者数を伸ばすことができました。キリンの来る1ヶ月ほど前には秋田の大森山動物園のご協力により、メスのライオン「バルミー」も来園しました。オスのウィルが1頭だけでしたがこれで一安心。

たくさんの皆様から支えられている動物園ということを肝に銘じながら、これからも楽しく喜ばれる動物園を目指したいと思います。

(平成21年5月1日 園長 生江信孝)



シゲルくん入園式



左がキリコ、右が新入生のシゲルくん



大森山からきたバルミー



オスのウィルと。カップル成立なるか？

2009年5月1日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)